

# SDMモデル実践の主要原則(抜粋)

- 表出された希望/意思及び選好に基づいて行う。
- 本人自身が選択に基づき、かつ意味があると感じる支援を確保する。
- 支援を受けない自由や、現行の支援計画を止める自由を尊重する。
- 本人のストーリーや決定の意味に注目する。(ストーリーの細部とらわれてはいけない)
- 本人の能力にむけたメンバー個々の動きでなく、チーム全体の努力に焦点を当てる。
- 様々なやり方で上手く行く支援(支援の提供、決定する対応)、コミュニティ内の機会の均等の権利を持つ
- リスクを冒す尊厳は支持される。
- 障がいのある人は、意思決定能力があるという立場を採る。
- 救済ではなく支援である。
- 制度上の既存サービスからの解放を促す。
- 全ての成人は、自分自身の人生・生活に影響を与えることのできる意思決定の権利を有しており、尊重される。